

キャラクター名
朝凧シロ

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス ノイマン	ワークス	UGNエージェントC	カヴァー	大学生
オプション	キュマイラ	年齢	20	性別	女
覚醒	生誕	衝動	破壊	初期侵食率	46%
出自	天涯孤独	経験	戦いの日々	邂逅	光明

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	1	0	0			1	行動値	8
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	8
精神	5	1	0			6	戦闘移動	13
社会	1	0	0			1	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			RC	1		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:社会学	2		情報:UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
レイジングブレイド	白兵	1r+2	6	12		シーン1回ダメージ+2d
		0				
影纏う巨剣	白兵	9r-4		24		基本コンボ

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ウェポンケース	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費
秘密兵器	P	N		
T:かつての【組織】の人たち	P 傾倒	N 恐怖		
柳端司	P 庇護	N 憐憫		
【血の爆炎】	P 好奇心	N 脅威		
川科澄夫	P 尊敬	N 不快感		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P: 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
マルチウェポン	1	3	Xジャー			対決		
効果:	達成-[5-lv] 装備武器の両方使用可							
コンバットシステム	1	3	Xジャー			対決		
効果:	+lv+1d							
無形の影	1	4	Xジャー					
効果:	あらゆる判定を【精神】で行う							
コンセントレイト:ウロボロス	2	2	Xジャー					
効果:	C-lv							
原初の紫:妖精の手	2	5	オート					
効果:	出目ひとつを10に							
パワーアーム	1	-	常時					
効果:	両手武器を余裕で持てる							
イージーフェイカー:折り畳み	2							
効果:	物品を折りたたむ							
影絵芝居	1							
効果:	影を動かす							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「平和に生きてる人は、そのまま平和に生きてほしいんだよね。知らなくてもいいこと、この世の中にはたくさんあるよ」

UGNのN市支部に所属するエージェント。
 昨年までUGNチルドレンとして活動しており、今年度からエージェントとして正式にUGNに所属することとなった新人エージェントである。
 エージェントとしては新人だが、チルドレンとして見出されたのは15歳のころであり、割と支部での経験も豊富。
 影を媒介とした情報収集、危機検知能力に加え、彼女のためにカスタマイズされた【影纏う巨剣】を用いた戦闘能力もあり、
 様々な現場に引っ張りだこの、よく言えばオールラウンダー、悪い言い方をすれば何でも屋である。

「色んなところで頼りにされるのは嬉しいよ。ちょっとお休みも欲しいけどね！」

性格は明るく、誰にでも物怖じせず突っ込んでいくタイプ。表情がころころ動き、なんにでもちょっと大げさにリアクションする。
 支部内でもかなり顔が広い方。（各所に仕事で引っ張られているためでもある）
 だが特に親しい仲間は多くない。
 一部、彼女のUGNの加入経緯を知る人間には心から打ち解けて話す。

「昔？ 昔はあれだね、髪の毛真っ黒だった！」

彼女の生まれは不明であり、彼女自身も知らない。
 物心ついたときには裏社会の人間であり、その「力」で人を殺していた。
 彼女にとっての日常とは組織に指定された「敵」を殺し、その報酬にしばらくの食事と宿を貰う、そういう日々だった。

能力の制御は昔から上手くいったわけではないが、一般人がオーヴァードである彼女に叶うはずもなかった。